

令和元年度第2回松戸市環境審議会
(会議録)

- 【開催日時】 令和元年11月19日(火) 午前10時30分から
【開催場所】 松戸市役所 新館5階 市民サロン
【次第】 第2回松戸市環境審議会
*開会
*環境部長挨拶
*議題
松戸市環境基本計画(案)について
*閉会

- 【出席者】 [委員]
・本條 毅 委員
・古井 恒 委員
・山田 千香子 委員
・増田 孝 委員
・椎名 憲一 委員
・小林 辰幸 委員
・秋谷 暢彦 委員
・曾宮 祐三 委員
・野口 功 委員
・大和 治枝 委員
・長濱 和代 委員
・秋山 和敏 委員
・坂本 一憲 委員 ※欠席
・新 玲子 委員 ※欠席
・森田 雅久 委員 ※欠席

- [松戸市職員]
・丸岡 新一 (環境部長)
・佐藤 充宏 (環境部参事監)
・門倉 隆 (環境政策課長)
・成田 由美子 (課長補佐)
・平野 昇 (主幹)
・小山 陽子 (主幹)

- ・松戸 孝雄 (主査)
- ・小野寺 美枝 (主任主事)
- ・式田 諒 (主事)
- ・西村 健人 (主事)

【傍聴者】 0名

司会 ただいまから「令和元年度第 2 回松戸市環境審議会」を始めさせていただきます。

本日の司会を務めさせていただきます、環境政策課の小山でございます。宜しくお願いいたします。

はじめに、環境審議会開催にあたりまして、環境部長の丸岡 新一からご挨拶申し上げます。

丸岡環境部長

皆様おはようございます。環境部長の丸岡と申します。本日はお忙しい中、第 2 回松戸市環境審議会にご出席を賜り、誠にありがとうございます。また、日頃より、本市の環境行政にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、前回の審議会では、委員の皆様から様々な貴重なご意見を賜りました。本日は、いただいたご意見などを参考に、松戸市環境基本計画（案）をお示しさせていただきます。委員の皆様からご意見を賜り、計画の策定に向けて検討していきたいと考えています。本日はどうぞ、よろしく願いいたします。

司会 最初に、事務局から本日配布した資料の確認をさせていただきます。

事務局 (配布資料の確認)

司会 ここからは、松戸市環境審議会条例第 8 条第 1 項に基づき、議事進行を本條会長にお願いしたいと思います。本條会長、宜しくお願いいたします。

本條会長 それでは、私が議事進行をさせていただきます。

最初に、本日の委員の出席状況について、事務局から報告をお願いします。

事務局 本日は 3 名の方から欠席するとの連絡をいただいておりますので、出席者は 12 名となります。よって、松戸市環境審議会条例第 8 条第 2 項に基づき、委員の過半数の出席により本会議が成立することを報告します。

本條会長 つづきまして、本審議会は松戸市環境審議会の組織及び運営に関する規則第3条第1項の規定により、公開となっておりますが、傍聴希望者はいますか。

事務局 傍聴希望者はおりませんでしたので、ご報告いたします。

本條会長 それでは、議事に移らせていただきます。本日記られました次第に沿って進めさせていただきます。

議事の「松戸市環境基本計画（案）」について、事務局から説明をお願いします。

松戸主査 (資料2に沿って説明)

本條会長 ありがとうございます。ただいま、事務局から議事「松戸市環境基本計画（案）」についての説明がありましたが、まず第1章について質問等がある方はいらっしゃいますでしょうか。

秋谷委員 第1章についてではないですが、目次のところで、「第2章 松戸市環境の現状と課題」とありますが、それに対して「2.1 松戸市の概況」「2.2 松戸市の環境の現状」の中身に課題が入っていません。15ページから38ページの中には課題が入っています。結論としては「2.2.1」、「2.2.2」のような形で、それぞれの基本目標の4つの話に番号を振ったほうが分かりやすいと思います。

また、1章の7ページ「(2) 計画の対象」で「また、対象の範囲は以下のとおりとします。」とありますが、対象の範囲というよりは、基本目標の区分や対象の部位という表現の方が後の話との整合性がとれると思います。また、【生活環境】のところでは、水質、土壌と記載してありますが、地下水の話も後のページに記載されています。また、令和元年度版の環境の現状と対策の報告書においても、地下水汚染の話が入っています。さらに、32ページでも、「地下水の汚染については～」と書かれていますので、地下水を入れるか入れないかどちらかに統一した方が良いと思います。また、同じように40ページでは、土壌汚染について記載されているので、地下水汚染の話を入れるのであれば、この場所にも入れなければならないと思います。

本條会長 全体の中で整合性がとれていないご指摘がありましたが、抜けているところがありましたら、付け加えなど見直していただきたいと思います。

松戸主査 わかりました。整合性がとれていない部分に関しましては、修正していきたいと思います。

本條会長 他にご質問等はありませんでしょうか。

長濱委員 課題や目標をどのように達成していくかというところで、今後、目標に対して、松戸市ならではの具体的な取り組みの記載があれば良いと思いました。また、21 ページ（主な課題）に「台風などの災害」とありますが、「台風による災害」にするなど、細かい言葉遣いを直していく必要もあるかと思えます。

松戸主査 ご意見として承らせていただきます。

本條会長 他にご質問等はありませんでしょうか。

野口委員 まず1章ですが、3 ページの最後に「社会的潮流としては、食品ロス問題や海洋プラスチックごみ問題がクローズアップされています。」と記載されていて、違和感を感じました。社会の中での位置づけをはっきりさせた方が良いという印象を受けました。特にプラスチック問題は市民の関わり方に大きな問題になってくるので、もう少し廃プラスチック問題を強調しても良いと思います。

松戸主査 ご意見として承らせていただきます。

本條会長 6 ページの最初の「国では～」と「第五次環境基本計画では～」の「では」が重なっているかと思えます。また、8 ページの「(4) 計画の期間」というところで、「毎年進捗状況の確認を行いながら～」と記載してありますが、こちらは本日の検討事項ですので、決定ではないかと思えます。

松戸主査 確かにその通りです。

本條会長 他にご質問等はありませんでしょうか。

古井委員 1章に限った話ではないですが、8ページの「(3) 推進主体」のところで、市民と事業者と松戸市が協力連携の関係としていますが、NPOなどの団体の立場の位置づけは計画の中でどうなるのでしょうか。

松戸主査 市民の位置づけになるかとは思いますが、検討させていただきます。

古井委員 市民の枠組みに入るかとは思いますが、どこかに明示されていると良いと思います。

長濱委員 市民の中にNPOなどは入るかと思いますが、松戸市の特徴として市民団体が意欲的かつ活動的に行政や私たちの生活に関わっているので、その点を踏まえて計画に盛り込むと、より特色のある環境基本計画になると思います。したがって、市民団体を協力連携の図に小さく加えても良いのではないかと思います。

古井委員 65ページに「5.1 計画の推進体制」の黄色の図に「市民、事業者、各種団体等」とここで初めて記載されているので、どこかにもう少し明記していった方が良いと思います。

松戸主査 1章で計画の構成を記載していますが、その中で書き加えていくことを検討していきたいと思います。

1章において、いただいた意見につきましては、事務局で整理させていただきます。

本條会長 1章についてはよろしいでしょうか。

つづいて、2章について質問等がある方はいらっしゃいますでしょうか。

秋山委員 12ページ以降において、「います」、「おります」の言葉が入り混じっています。「おります」は通常、このような計画書の中には書きませんので、統一した方が良いと思います。もう1点は、11ページ「(3) 交通」と12ページ「(4) 人口」の文章で、「本市は都心から約20キロメートル」という部分が同じであり、重なっています。直すのであれば、

「(4) 人口」のところは、「本市は都心から近いという地理的条件に恵まれています」とした方が分かりやすいと思います。また、文章やグラフが書いてあるのに、中には文章が入っていなかったり、グラフが入っていなかったりする箇所があるので、合わせられるように、後で見直した方が良いかと思います。また、13 ページの「(5) 土地利用」の内容は他の文章と比較するとわかりにくい印象を受けました。

松戸主査 わかりました。ご意見として承らせていただきます。

本條会長 他にご質問等はありませんでしょうか。

野口委員 30 ページの「基本目標 3 自然環境の保全と生きものとの共生」において、主な課題が記載されていますが、残された自然環境が本来の姿ではなく管理が不十分なために荒れてしまっているということも大きな課題の 1 つであると思いますので、主な課題に加えていただけないでしょうか。

松戸主査 緑の基本計画は実行計画もありますので、実行計画とのすり合わせも必要になってくると思いますが、いただいたご意見は検討させていただきます。

本條会長 他にご質問等はありませんでしょうか。

山田委員 「第 2 章 松戸市の環境の現状と課題」の「2.1 松戸市の概要」において、位置、気候、交通、人口等が記載されています。その中で、例えば、道路やベットタウンのことにに関して、単に現状を述べるのではなく、過去の歴史があって現状がこのようになっていることに触れて述べる方が良いと思います。そのような記載がどこにもないのですが、どこかに反映していただけることで、全く松戸市のことを知らない方が読んだとしても、このような背景を踏まえて今の松戸市であるとわかるかと思います。

また、26 ページの【自然環境の保全と生きものとの共生】において、地図がありますが、分かりにくいので説明が不十分であると思います。

他にも、61 ページでは子どもたちの学習活動が頑張って取り組んでいることが伝わってくるのですが、この記載だと小さなことをやっているように扱っている気がしてしまいますので、それをもっとどこか

で反映させた方が良いと思います。

また、ベットタウンに里山があるということは価値のあることだと思いますので、28 ページにおいて、もう少し里山についても全面的に記載があると良いと思います。

さらに、松戸市では子育てで全国一位という評価をいただいているかと思います。子育てをする若いお父さん、お母さんは必ず環境との関わりをみます。そうした中でなぜ、子育てで全国一位となったのか。そこで、環境が子育てにどのようにアピールしているのかを一体化させることが戦略的には良いと思います。

松戸主査 ご意見として承らせていただきます。

本條会長 他にご質問等はありませんでしょうか。

秋山委員 30 ページの「主な課題」では、外来生物に関して、「施策の方向性」では、景観づくりに関して記載されていますが、現状がどうなのかということが、手前の段階でわかるようにすると読みやすいと思います。例えば、松戸市や近隣市にどんな外来生物がいるのかといったデータを載せるといったことが必要だと思います。緑に関することについては、内容量の比率が高いので、課題と手前の説明との整合性がとれていません。全般的に、基本目標を立てるときには、主な課題として挙げるものは、現状を手前の段階で記載して、方向性は具体例を示さないと分かりにくいと思います。

松戸主査 課題と施策は案としているので、変わる可能性があるかと思いますが、データに関しましてはもっと厚みをもたせられるようにしていきたいと考えています。

秋山委員 前回の審議会においても述べましたが、2月中旬の審議会の1回の中間報告だけで大丈夫なのでしょうか。

門倉課長 今回、多くのご意見をいただきましたので、場合によってはもう一度、中間報告をするのか、皆様とのやりとりを重ねて、詰めた内容にするのかを今後検討させていただきます。

本條会長 つづいて、3章、4章でご質問等はありませんでしょうか。

野口委員 4章の42ページで「温室効果ガスの削減」について記載されていますが、一言でいいのでどこかに森林の役割について位置づけてもらえないでしょうか。

また、44ページに「エネルギーを効率的に利用する街づくりの推進」という項目がありますが、コミュニティバスのことに関しても加えていただければと思います。

また、50ページの「自然環境の保全と生きものとの共生」のところで、「都市部にありながら今もなお樹林地が多く残っている～」と記載されていますが、樹林地が多く残っているということだけが強調されてしまっているように感じますので、表現を変えた方が良いと思います。

それから、54ページでは、「生きものとの共生」に関して記載されていますが、環境基本計画の中で触れるべきなのか定かではありませんが、生物多様性地域戦略についてもできれば一言加えていただきたいと思います。

松戸主査 わかりました。検討させていただきます。

本條会長 他にご質問等はありませんでしょうか。

秋谷委員 要望になりますが、農地の取り扱いについて、農地保全について取り組むことをもう少し明確に示して欲しかったところですが、具体策については、今年度3月に制定された、都市農業振興計画を参考にさせていただくとともに、環境基本計画にも反映させていただければと思います。

もう1点は都市農地に関してですが、国の施策も都市農地を保全する方向で動いていますので、松戸市においても同様に環境基本計画に記載していただけないかと思います。都市農地は政策的な影響も非常に受けやすく、1度なくなると再生不能となりますので、それらに関連する施策を入れていただきたいと要望いたします。

また、もう1点は耕作放棄地や荒廃地の問題についてですが、環境基本計画の中に記載はありましたでしょうか。そのような土地も環境に大きな影響があると思いますので、記載されていないようでしたら検討していただければと思います。

曾宮委員 調整区域が4分の1になっているということですが、減少に歯止めはかけられないものでしょうか。将来的に松戸市はどれくらいの緑地を保全していくのかを明確にこの審議会で示した方が良いと思います。先ほど生産緑地の話がありましたが、市内において、前向きな農業家と放置されている農地が混在していると思います。前向きな農業家の人に活用させる枠組みを作ることが大切な農地保全や緑地保全になりますので、その辺も検討していただきたいと思います。

松戸主査 都市計画の枠組みになってくる部分もあるかと思います。

曾宮委員 そういうことかもしれませんが、都市計画をみてその枠内でしか環境問題を語れないのは少しおかしいような気がします。環境があって都市づくりではないのですか。どちらかをきっちり決めておかないと将来的に減少してしまう可能性があります。ですから、都市計画課なのか、環境政策課で取り扱うのか、話し合っってはっきりさせるべきかと思います。いかがお考えでしょうか。

松戸主査 街づくり部門との兼ね合いもあり、マスタープラン等に関する話なので、街づくり部門と話し合いを進めていく必要があると思います。

曾宮委員 松戸市の取り組みを緑のブランド化していく上で、基本ができていないと思います。地域農業も都市農業を支えていくのでしたら、耕作放棄地の問題にもっと真剣に取り組むべきであると思います。

門倉課長 環境という分野は様々なところに入り込んでいます。街づくりや農地関係の担当課と調整を取りながら、環境基本計画を策定するためにヒアリング等を進めています。そして、担当課と話し合いながら明記できるものについては明記していきたいと考えています。

本條会長 他にご質問等がありますでしょうか。

秋山委員 2つありますが、1つは46ページに記載されている、3Rに関してです。前回の審議会でも述べましたが、3Rという表現に固執するのかどうかというところで、環境省が推奨しているように、リフューズやリペアを含めた4R、5Rで表現した方がごみの減量に繋がる言葉としてあった方が良いと提案します。

2つ目は57ページで、「健康で快適な暮らしの確保」という項目がありますが、環境リスクの管理についても少し触れた方が良いと感じました。環境リスクには、魚の大量死や枯れ木を作らないための対応といった人為リスクと内水氾濫や台風への対応といった自然リスクがあるので、そのようなことを「健康で快適な暮らしの確保」の項目の中に触れた方が良いと思います。

平野主幹 1点目の3R、5Rについてですが、松戸市ではリフューズのものを作らない、ものを貰わないという考え方はリデュースの中に含まれたものとして行動していただくよう、市民の方をお願いをしているところであります。また、リペアに関しましても、リユースの考え方の中で、ものをすぐに捨てずに、修理して一つのを長く使ってくださいという考えが含まれています。また、使えなくなってしまったものに関しては、資源にできるものはリサイクルしていただくようにしております。「R」は他にもたくさんあるかと思いますが、松戸市としては、3R施策を引き続き、行っていきたいと考えておりますのでご理解いただければと思います。

秋山委員 松戸市ではそのような考え方をしているということが浸透するように、明記する必要があると思います。

松戸主査 検討させていただきます。

本條会長 他にご質問等はありませんでしょうか。

いらっしゃらないようですので、個別計画の数値指標を示すかどうかについて移りたいと思います。配布資料のとおり、例1・例2あるいは、何も設定しないという説明がありましたが、ご意見等ありませんでしょうか。

野口委員 数値目標は、市でしっかりと持ち、フィードバックされれば良いと思います。環境基本計画を見たときに、こうした指標でやっているということがわかるようにして示されていれば良いと思います。

松戸主査 市としては、環境に関する実行計画が多数あるので、数値は示さない方が、他の計画が改正したときに適応しやすい面があります。他の計画で進行管理を行っていますので、他の計画を合せて環境基本計画

の指標にしたいと考えています。

野口委員 主要な指標は環境基本計画を見たときに、分かるようにした方が良いと思います。

本條会長 例えばカッコ書きにして、他の計画が変わったときには、数値が変わるということがわかるようにしたら良いと思います。

また、方針が示せば良いので、数値目標はなくても良いと申し上げました。ただし、検証可能なものでないといけないと思いますが、他の実行計画で数値が出ているものは、そちらで検証されると思います。数値目標を示すかどうかは大きな問題ではないと考えます。

野口委員 行政としてそれで整合性がとれているのかと思いますが、市民の立場から考えると全てを理解することは難しく、環境に関心のある人が環境基本計画を読んだときに、全体像が見えるようにして欲しいということです。

本條会長 ただ今のご意見は、数値は示した方が良いということでしょうか。

野口委員 参考として、他の計画で持っているものを示した方が良いということです。

秋山委員 野口委員の意見に賛成です。数値で示せるものについては示して、示せないものは、抽象的な言葉で表せば良いと思います。3つのやり方がある中で、実行計画は市で実施するものであり、議論する場はないのでしょうか。数値で表せるものは、環境基本計画でなくとも、実行計画に表せば、議論する必要があると思います。他の部局ではこういった目標値がありますなどということを実行計画の中に入れておけば、進捗状況について議論できると思います。

門倉課長 秋山委員がご指摘されていたのは、例2のような形であるかと思います。各評価は部署によって取扱いが違いますので、必ずしも毎年出てくる数字があるかということに関しては、この場ではお話しできません。いずれにしても、各計画で進捗管理していますので、頻度はわかりませんが、審議会の中で進捗をご報告し、その結果を受けて、環境

基本計画の進捗を見ていただくやり方もあるかと思います。

本條会長 例えば、例 2 で、現在どうなっているという数値を入れることは可能でしょうか。

松戸主査 報告する段階で、データを集めてお見せすることは可能であると思います。

門倉課長 例えば二酸化炭素の排出量の場合は、国のデータが 2 年や 3 年遅れに出ることになりますが、数値を出せるものについては入れることが可能です。目標値につきましても、各個別計画で、数値目標を出しているはずですので、お示しすることは可能であると思います。しかし、表現としては、各個別計画の数値が変わったときの取り扱いの兼ね合いがありますので、例えば、「市民 1 人 1 日当たりの排出量」といった表記をして、参考として現在の段階での数値目標を合せた形でお示しすることはできるかと考えています。

野口委員 現在の時点で市がどういう計画をもっているのかが明示されていれば良いと思います。そして、数値が出せるものについては出した方が良いでしょう。また、参考でも構わないので、市のもっている具体的な計画がどうなっているのかが分かるようにして欲しいです。

椎名副会長

環境基本計画を評価する人の視点に立ったときに、個別計画の数値を入れることよりも、例えば 5 年後に「松戸に住んでいて良かった」と実感してもらえれば良いと思います。

曾宮委員 このままでは、緑地がなくなってしまうのではないかと考えている人もたくさんいるので、努力目標でも構わないので数値を入れることは重要だと思います。後で検証することができませんよね。

松戸主査 個別目標の数値を見て、どういった計画で、どう記載しているのかわかるように説明して、整理する必要があると思います。また、計画策定時のそれぞれの基本目標を追記で表し、数値が更新される可能性があることを示す形が良いと感じました。そして、満足度等を市民

アンケートで10年度にとるといった形が良いかもしれません。

野口委員 環境基本計画は行政の計画ではありますが、市民に環境問題を考え
てもらうための1つの基本文献なので、そういった点も考慮してもら
いたいと思います。

山田委員 野口委員のご意見と重なりますが、基本目標といったものがこのま
まで良いのかと感じたことが表現の問題です。例えば柏市を参考にしま
すと、非常に市民レベルに立った分かりやすい目標と言葉になって
います。行政が出したものを市民の方に理解してもらい、浸透して
もらうためには表現はこのままでよろしいのでしょうか。この環境基本
計画（案）はこのままで良いですが、市民レベルで理解して浸透して
もらうときにまた、検討が必要だと思います。特に柏市の場合は分か
りやすく、例えば基本目標1の場合、指標、目標値がありますが、目
標値の場合、一定の場所に限定しています。ですから、今年の場合は
ここの地域といったことも1つの目標値として有りうるかと思いま
す。柏市の例はとても参考になると感じました。

本條会長 柏市の場合を見てみると、数値を示すことができ、後の変更にも
対応が可能であると思いました。ただし、この形でできるものとでき
ないものがあるとも思います。

松戸主査 「更新がされた段階で読みかえる」とすれば、可能であると思いま
す。

本條会長 ただいま挙げられたような考え方で良いと思いますが、いかがでし
ょうか。

松戸主査 例1と例2を合せたような形が良いかもしれません。
こちらにつきましては、一度整えさせていただきまして改めて示し
たいと思います。

本條会長 では、折衷案ということで、例1と例2を合せたような形でよろし
いでしょうか。
全体を通して、委員の皆様から何かございますか。ないようでした

ら、事務局から何かありますでしょうか。

門倉課長 本日は長時間にわたり、誠にありがとうございました。また、様々なご意見をいただきまして、ありがとうございました。今回いただきましたご意見を参考にさせていただきまして、環境基本計画の策定に向けて修正を行い、修正ができ次第、早い段階で皆様に内容をお示しできればと考えています。

次回の審議会の開催ですが、2月の中旬を予定していますので、決まりましたら、皆様にご連絡差し上げたいと思います。お忙しいところ恐縮ですが、よろしく願いいたします。事務局からは以上です。

本條会長 では、以上をもちまして、令和元年度第2回松戸市環境審議会を修了いたします。長時間にわたりお疲れ様でした。

また、議事進行にご協力いただきまして、ありがとうございました。それでは、司会を事務局にお返しいたします。

事務局 本日は、長時間にわたりありがとうございました。
以上をもちまして、終了させていただきます。

以上